

〔団体の概要〕（NGO/NPO用）

団 体 名	エコ・カーライフ創出塾		
所在地	〒603-8061 京都市北区上賀茂荒草町 61-1 谷口方 TEL:075-706-6133 FAX:075-706-6133 E-mail:		
ホームページ	http://www.joho-kyoto.or.jp/~nakamura/ec1/		
設立年月	1999年 10月 *認証年月日（法人団体のみ） 年 月 日		
代表者	谷口 隆捷	担当者	藤井 啓之助／ 中村 長敬
組 織	スタッフ 12名（内 専従 0 名）		事務所 あり・○なし
	会員制度 （○あり・なし ）	正会員 名（内訳：個人 名 / 団体・法人 名） 賛助会員 名（内訳：個人 名 / 団体・法人 名） その他会員 12名	
設立の経緯	1999年10月、京都市まちづくり支援事業の認定を受け、市民一般公募により、15名で塾活動を開始。 “京都のまちづくり”にとって、クルマ問題は避けて通れないという認識から独自の方策を重視し続ける。		
団体の目的	最終的には“歩いて楽しい、安全に暮らせるまちづくり”が目標だが、現実の都市（クルマ）環境を段階的に改良するために、まず全てのクルマの“エコ・カー化”を目指す動きを早め、技術革新の成果につなげる。同時に高齢化社会の福祉の向上にも対応する。		
団体の活動 プロフィール	平成13年度までの活動は以下のとおり。 ・既存の完成車、EVミニカーによる各種デモンストレーション活動に続いて（以上 0号車）、京都独自の超機能EV試作車（「しずか」と命名、1号車）の開発までこぎ着け、NHKを含めた各TV局の取材放映で注目を浴びる。とくに高齢者福祉対応機能がこれまでにないたゆえ、ひととき関心をたかめた。 ・続いて、バッテリーに加え、自然エネルギー動力の採用と通常の電動車椅子にも対応できる単独走行用の試作2号車の開発に向けて、鋭意準備中、できれば平成17年度の量産（普及）を目指す。		
財 政	活動事業費 （平成13年度）	20,000円	

団体・企業名	エコ・カーライフ創出塾	担当者名 谷口隆捷・藤井啓之助
--------	-------------	--------------------

〔政策提言の内容〕

※政策分野・手段の番号は参考資料をもとにお書きください。

政策のテーマ	電動くるま椅子のまま独力で乗り込め、真横にも移動するEV（エレクトリック・ヴィークル）の開発		
政策の分野	番号	8	・ 環境に配慮した製品・サービスの普及 ・ エコビジネス、コミュニティビジネス
政策の手段	番号	11	・ コミュニティ・ビジネス、エコ・ビジネスの促進 ・ グリーン産業による雇用の促進、地域通貨の促進

① 政策の目的

高齢化・福祉社会に向って、歩行を含めた移動（交通）というテーマは新たな段階を迎えている。

従来（この100年）の延長線上で発想しない、真に人間本意の移動支援（手段）を、主として都市環境の中で考え（市民サイドから）、具体的な成果（ハード・ソフト）に結びつける。

② 提言を行うこととなった背景および現状の問題点

20世紀文明の一つの特徴として、大多数に普及した、内燃機関を動力とする車も、都市部を中心に各種の限界を生じさせ、都市環境の悪化は深まる一方である。

文明の恩恵も一定の限度内という、自然の摂理（人間の知恵）の原点に立ち返り、21世紀の真の豊かさの再認識が不可欠となっている。

現状の対処の為の技術開発では自ずと限界があり、ユーザーの意識は勿論、メーカー側も本格的な意識改革が迫られており、とくに高齢化・福祉対応は今や“特別”ではあり得なくなった。

③政策の概要

1. 既成のクルマの保持、利用（走行）、保守、性能、デザインとは、全く別の考え方を都市（中心市街地）環境の中で発想し、総体的に都市の再生を目指し、安全で豊かな人間のライフスタイルを創出する。

1. 現代人の誰もが必ず当面する、高齢・福祉対応時期にも、健常時に近い生活環境を、より永く持続しうる手段としくみを実現する。

1. 自然エネルギーのマルチ利用を限りなく目指すことにより、環境負荷の極小化をめざす。

1. あらゆる段階で、市民参加（自由で、オープンな）を重視し、新たな自給自足、地域主体のグリーン・ビジネス環境を各地で創出すると同時に、ネットワーク化を図る。

1. 車両・道路を管轄する関係諸機関への各種要請による法改正を目指す。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートをつけてください）

```
graph LR; A([「京しずか2号車」の商品化  
(新コンセプト未来の乗物)]) --> D[電気自動車の普及促進]; B([新販売システムの採用  
(インターネット販売／地域密着型サービス)]) --> D; C[告知活動]; D --> E[化石エネルギー消費の軽減  
大都市の渋滞の緩和・交通負荷の低減  
地球温暖化の防止  
高齢者・障害者の自立促進];
```

「京しずか2号車」の商品化
(新コンセプト未来の乗物)

告知活動

新販売システムの採用
(インターネット販売／ 地
域密着型サービス)

電気自動車の普及促進

化石エネルギー消費の軽減
大都市の渋滞の緩和・交通負荷の低減
地球温暖化の防止
高齢者・障害者の自立促進

21世紀型新産業システムの構築

⑤ 政策の実施主体	(提携・協力主体があればお書きください)		
エコ・カーライフ創出塾	+	株式会社イーブイメルテック	ほか
		(代表取締役 藤井 啓之助)	

⑥ 政策の実施により期待される効果 1. 高齢・福祉該当者の自立移動支援により、新しいライフスタイルの創出。 （もちろん健常者にとっても自在な足がわりとなることにより、過剰にして不経済な現状からの脱却（置換）を促進する。 1. 都市環境の改善が著しく、交通事故等の激減、安全性の確保。 1. グリーン（コミュニティ）ビジネスの実現による、地域の活性化。 （雇用促進 というより もっと積極的な自発的参画（老若男女）のパワーが広く普及する） （地域通貨 等との連動も可能） 1. 公共交通機関との有効な“住み分け#による活性化と新たな商品開発

⑦ パンフレット等添付資料名
・ H 1 3 年度「エコ・カーライフ創出塾」活動成果報告書 ・ ・ 「京しずか」商品企画書（H 1 3 年度版） ・ ・ E Vメルテック社　S Sニュース（2 0 0 1 年7 月1 日号）